

月報 シオン山

2022年6月5日発行 (No381)

日本バプテストシオン山教会

☎803-0846 北九州市小倉北区下到津2-15-21

Tel(093)561-0772 Fax(093)561-0760 E-mail:bapshion@eagle.ocn.ne.jp

【月間聖句】

どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で
心をつにして求めるなら、わたしの天の父はそれを
かなえてくださる。

(マタイによる福音書18章19節)

「提言 シオン山教会会員の生命と使命」を読んで

宣教支援センター主事 齊藤弘司

1994年8月14日のシオン山教会週報に、今村幸文牧師がお書きになられた提言が掲載されている。どのような経緯があったのかは、今となっては、残念ながらよく分からない。けれども教会創立100周年を迎える私たちへの励ましに満ちた内容であると思った。ここにご紹介させていただきたい。

提言 シオン山教会会員の生命と使命

★主日礼拝を喜ぶ

主イエスが私たちの罪のゆるしのために十字架にのぼり、死んで三日目に復活された恵みの事実を記念して、その愛といのちの力にあずかる主日礼拝を喜んで守ります。

★聖書を毎日読む

聖書は神のみことばであり、私たちの生命の糧、生の全領域における知恵と指針として毎日読む。主日の教会学校は、聖書を交わりの中で読み、日頃の読み方が豊かにされ、共にみことばを宣べ伝える者として整えられる。教会員は、教師か生徒です。

★事ごとに祈る

祈りは魂の呼吸であり、生ける神との交わりです。日常生活の中で絶えず祈り、教会の祈祷会で、他者のため、教会のため、世界のために「とりなし」祈ります。

★奉仕に生きる

十字架の死に至るまで神に服従され、私たちの救いのために仕えて下さった主イエスに応答して神と隣人への奉仕に生きる者となります。

★十一献金に励む

私たちにとって、すべて十分の十、神のものであり、すべてを神から与えられている者として十分の一を神に献げ、十分の九を用いて神の栄光となるように用います。

★地域社会の人々と西南女学院の教職員、学生、生徒に仕える

七十二年の歴史を数える私たちの教会は、地域社会と西南女学院のための祈りをもって来ました。実りある教会形成をしていくために具体的な課題があります。共に話し合い、祝福された在り方を求めていきましょう。

★会衆主義を貫く

バプテスト教会の特徴の一つは会衆制です。したがって総会、常会は大変大切なものです。私一人くらいいなくてもという意識を払拭して、キリストの体なる教会の一員としての光栄と責任をおぼえて参加する者となりましょう。

★信仰告白を鮮明に

主ならざる主が、巧みに誘惑する時代の中で、「イエスは主なり」と私たちの信仰告白を鮮明にしましょう。

「わたしはこの岩の上に私の教会を建てよう」(マタイ 16 : 18)

今村幸文牧師が遺して下さった言葉を今一度思い起こしながら、教会創立 100 周年記念礼拝の時を迎えたいと思います。